



頑張りました! オープンデー

2月1日(木)に、本校に入学予定の小学校6年生を対象にしたオープンデーを実施しました。丁寧に準備をしたおかげで、ちょっと緊張気味ではありましたが、中学生らしい、明るい爽やかな発表ができました。6年生やその保護者の方からも「わかりやすかった」「中学校に進学するのが楽しみになった」「中学生らしい発表がよかった」など、好評でした。

発表のあとは、2年生の授業の様子や校舎内を見て回り、1年生の教室などを使って、1年生と6年生で「一中を語る会」を行いました。小グループに分かれてアイスブレイクで和やかな雰囲気を作ったあと、中学校生活についての話をしたり、小学生からの質問に答えたりしました。

生徒の感想には「上手く発表できてよかった」「6年生をちゃんと案内できてよかった」といったものだけでなく、「少しでも中学校が楽しみになってくれるといいです」「中学生になる不安がなくなっていたらいいです」など、6年生を気遣う言葉も見られ、先輩になるんだという気持ちが少し芽生えたようで、頼もしい限りです。



プロフェッショナル集合!

6人のプロフェッショナルからお話を聞きました

2月9日(金)に、1年生の総合的な学習の一環として職業人として福井で活躍している6人の方に講演していただく「プロフェッショナル集合」を開催しました。講師は、福山智基様(医療法人福山会福山医院院長)、清水智信様(福井県議会議員)、高橋健志様(有限会社ハトヤ代表取締役)、村田和哉様(株式会社ユティック陸上競技部選手)、上田涼太様(株式会社 BONA FIDE 代表取締役社長)、坂田菜世様(福井放送株式会社制作部所属)です。医療、報道、スポーツ、政治など、様々な分野からのお話をいただきました。また、現在の仕事内容や仕事をする中の楽しみや苦労、今後の目標などの仕事のことについてだけでなく、子ども時代の夢や目標、今の仕事に就いたきっかけ、楽しみにしていることや趣味の話など、幅広いお話を聞かせていただきました。生徒たちにとって将来の生き方や働くことの意義についてじっくり考える機会となりました。6人の講師の皆様、ありがとうございました。



高校について調べています

1年生は、進路学習の中で、「高校調べ」を行っています。グループに分かれて、高校を1つ選んで調べます。高校のホームページやパンフレットをじっくり読みながら、わかったことや発表したいことを模造紙にまとめて、ポスターセッションを行う予定です。自分たちで調べた学校だけでなく、興味のある学校のことについて、友達が調べたことを聞いたり自分でさらに調べたりして、自分の進路選択について考えるよい機会にしてほしいです。

立志式に向けて!

3月12日(火)に予定されている2年生の立志式に向けて、練習にも熱が入ってきました。前号では歌の練習の様子を掲載しましたが、今号では式典練習の様子を紹介します。

式典練習も、実行委員がリーダーシップをとって進めています。式の流れについて説明したり、流れに沿って練習するだけでなく、座っているときの姿勢や作法の練習など、一つ一つの動きについて丁寧に練習しています。また、「私の決意発表」では、一人一人が啓発録に記した目標の一つを発表することになっています。立志式本番で大きな声で決意の言葉を発表できるよう、練習の時間には、大きな声が職員室まで届いてきます。また、日頃のあいさつはもちろんですが、職員室に入室するときや、清掃のあいさつなど、2年生のあいさつが元気よくなっています。立志式では大きな声で決意を述べ、なりたい自分の姿を自分で引き寄せてほしいです。



明日の一中を語る会

2月22日(木)には、「明日の一中を語る会」を実施しました。今回は、今年度の語る会の取り組みを振り返り、今後の語る会のあり方について考え、話し合いました。

グループでの話し合いでは、これまでにどんな場でどんな力をつけてきたか、それを踏まえてこれからつきたい力、さらに伸ばしたい力について、「卒業するときどんな人になりたいか」を見据えながら語り合いました。そこから、今の自分に足りないことは何か、これからどんな経験をしていくとよいかといったことに話し合いを発展させていきました。そして、最終的に、これからの「明日の一中を語る会」のあり方について考えを述べ合うことができました。

この「明日の一中を語る会」は、1年間固定のグループでした。初めの数回は、1年生が緊張して遠慮気味だったり、3年生が会の初めにアイスブレイクを取り入れてなんとか雰囲気や和らげようとする様子が見られたりと、どこことなくこちなかったのですが、回を重ねるごとに少しずつスムーズに会が進むようになってきました。

今回、生徒が自分のなりたい姿を語ることで見通しをもち、その姿に近づけるようになるための機会として、これからの「明日の一中を語る会」が発展していくとよいと思います。

